

## 平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

## 機関・団体等の名称

一般社団法人島根県建設業協会青年部会

事業等の名称	松江高専現場体験実習
1. 実施時期	平成29年9月15日（金）
2. 実施場所	松江市・出雲市の建設現場12ヶ所
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	松江工業高等専門学校3年生40名（男子19名 女子21名）
4. 共催・単独等の状況	単独での開催ですが、島根県、松江国道事務所、出雲河川事務所全面協力 (7現場) (2現場) (3現場)
5. 事業等の内容	上記3年生40名を12現場に別れてもらい（1現場3~4名）1日建設現場の仕事を実施体験してもらう。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	建設業及び建設現場を理解してもらう。 将来的には卒業生が建設産業に入職をする可能性を上げる。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	この企画については、準備等に非常に負担がかかるので、年間1回の開催が限界であること。
8. その他	特になし

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

### 9月16日 松江高専(3年生)との現場体験

工事名	〔住〕松江木次駅(東部工区) 総合交付金(改築)第7期工事 (経済対策)	施工場所	松江市東部町地内
発注者	島根県松江県土整備事務所	現場所長	自 平成29年2月22日
請負金額	当初136,620,000円 变更154,595,280	工期	至 平成29年11月30日
工事進捗率	現在	現場職員	

#### (1)工事概要

道路改良	道路工	既新工	底削 20,400m <sup>3</sup> 、土砂運搬 20,340. 積込24 20,300m <sup>3</sup>
	路床監工	路盤(整地)盛土 120m <sup>3</sup>	
	法面整形工	法面整形(切土部) 2,770m <sup>2</sup> 、(盛土部) 290m <sup>2</sup>	
	植生工	植生木材吹付(切土部) 2,710m <sup>2</sup> 、(盛土部) 290m <sup>2</sup>	
法面工	排水構造物工	他下排水工 38m	
	排水構造物工	暗渠排水管 38m	
	仮設工	沈砂池 2箇所	
	仮設工	木組等仮設脚手分 8,900m <sup>2</sup>	
	準備工	堆土 50t	
	等等工		

#### (2)体験できる作業内容 (受入生徒数 名(うち女性名) ) (職員 2名)

・丁張の測量(トータルステーション、レベルの使用)

・丁張掛け(丁張計算と実技)

・ドローンを使用した現場管理体験

※ 現場状況により下記内容に変更します。

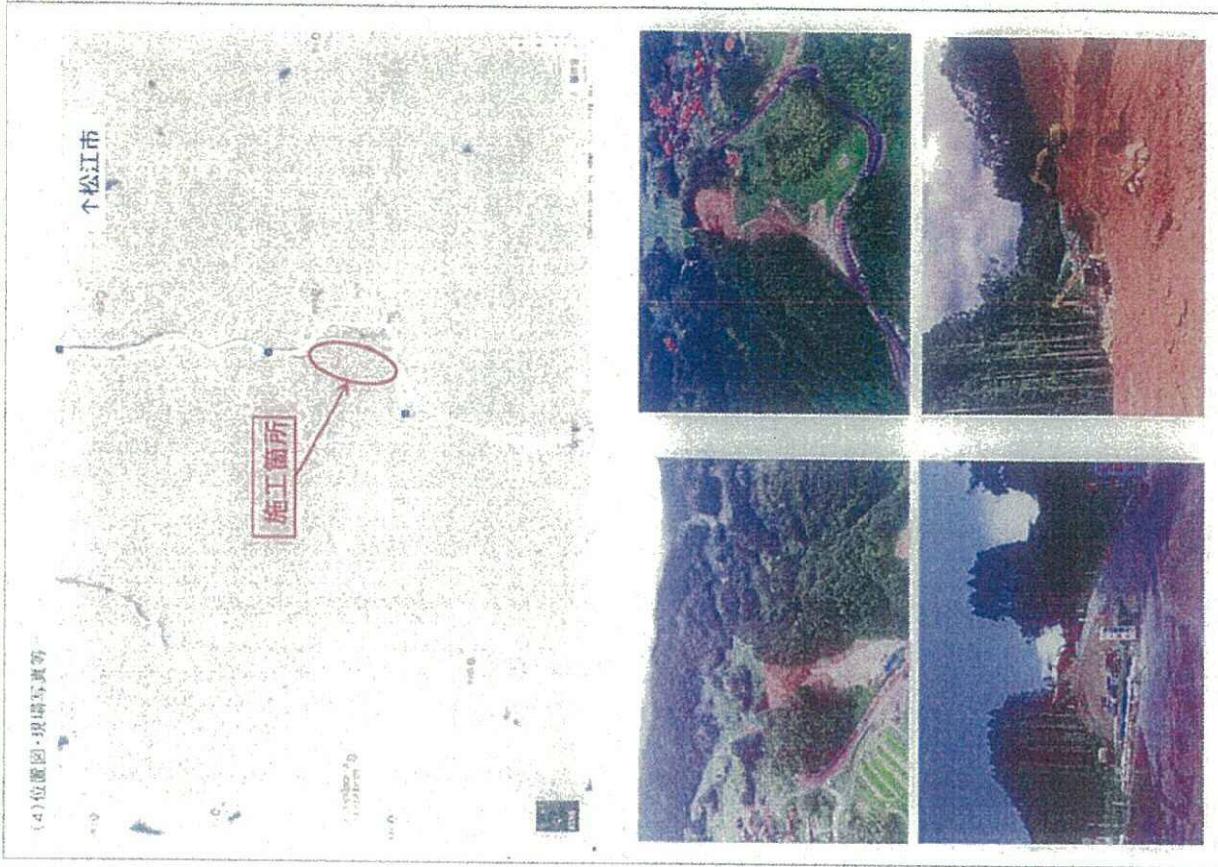
○ 基準点の確認測量

○ CAD演習または写真管理

#### (3)タイムスケジュール(予定)

7	08 ~ 8	00	朝礼、RAKY活動、打合せ
8	09 ~ 10	00	作業準備、測量
9	09 ~ 10	30	休憩
10	10 ~ 12	30	ドローンを使用した現場管理体験
11	12 ~ 12	45	昼食、休憩
12	09 ~ 12	45	安全衛生工程打合せ、RAKY活動復習
13	09 ~ 15	00	測量
14	09 ~ 15	30	休憩
15	30 ~ 16	30	丁張計算、丁張計画
16	30 ~ 17	00	検評、意見交換

#### (4)位置図・現場写真等



## 【現場体験の場所および実施内容】

松江市東光部町地内

- ・測量器械を触らせてもらった。トローンの使用
- ・現場見学
- ・現場の測量
- ・タフナー東京
- ・大作

## 【感想文】（注：下記の太線以上、必ず記述すこと）

今回の現場体験では、いつもの機業ではなくなりました。まずは体験をたくさんさせていただきました。

まず、高専にはない最近の器械を触らせていただきました。今まで"でも測量できる器械といふことで GPS と光波で器械が"必ず"ついてきました。実際に測らせてもらったりして、こうした最新器械を触らせてもらってとても感動いたしました。いい経験になりました。

そして、トローンも操作練習させていただきました。トローンもいろいろな場所で普及しつゝあるといつても、やはりまだめずらしいもので、高専に入学していなかつたら角栓などをなんてばかれたと思います。そんなトローンを角栓の"うけで"まで操作までさせていただけて、とても感動いたしました。

そして何と言っても一番興奮したのはタフナーの助手席に乗せてもらえたことです。小さい頃から車の運転が好きでとても楽しめたのです。いつもとは違う自分の車で、いつもとは違う乗り心地でとても興奮しました。そしてタフナーに乗るついで乗ったのは、タフナーには1人で乗っていいからあとで、現場では全員でチームで、チームで仕事をやるおらねあねださーと感じました。すれちがうタフナーに合団をしてたり、土を乗せてもぬったり、講導員さんに誘導してもらったり、いろいろな役割の方がいて、全員が協力してこれを成り立つんだと実感するとともに、私も将来自分たちの一人になれてひとつのものを大きく上げてみたないと気が付きました。

今回、たくさんの方々のお話を聞けて、今までの体験をさせてもらえて、自分の将来をより現実的に考えることができました。みなさん親切で、とても素晴らしい体験をさせてもらいました。本当にありがとうございました。